



さくら

やさしく かしく たくましく

笑顔かがやく城西の子
学校だより2月号 R8. 2. 27



宇都宮市立城山西小学校長 鮎瀬 寿久 ホームページ QRコード

校庭の木々の枝先を見ると、春を待っているかのように芽が膨らんでいます。まだコートを手放せない日もありますが、木々は季節の移り変わりに敏感なようです。

“笑顔輝く城西の子”たちも、春に向かってとは限りませんが、自分もっている可能性を芽吹かせ、花を開かせるために雪にも負けず、寒波にも負けず日々頑張っています。子どもたちの学校生活の様子を、エールを送りながら目を通していただければ幸いです。

また、2月6日(金)は6年生、13日(金)は1～4年生、そして延期になった5年生は20日(金)と授業参観を実施しました。「できるようになったこと」や「劇」、「読み聞かせ」の発表、家族への感謝の思いを伝えるなど、工夫を凝らした発表をしました。多くの方にご参観いただき本当にありがとうございました。



27日には、創立150周年記念式典を締めくくる事業として、気球搭乗体験を実施しました。曇り空ではありませんでしたが、ふわりと舞い上がった上空の気球からは、子供たちの歓声が響き渡っていました。

会話科集会

19日(木)、本校の特色ある教育活動「会話科」の発表会を開催しました。読み聞かせや演劇、民話語り、放送のスペシャリストの方を講師に迎え、子供たちは本物の技に触れながら表現力を磨いてきました。当日は、物語の世界を情感豊かに表現した3年生、仲間と心を一つに迫真の演技を見せた4年生、民話語りを堂々と語り継いだ5年生と、どの学年も練習の成果を存分に発揮。後日放送予定の6年生も、プロ直伝の技術で確かな情報を届けようと準備に励んでいます。

発表する側も、それを真剣に聴く低学年も、まさに「言葉」で心が通じ合う素晴らしい時間となりました。ご指導いただいた先生方への感謝を胸に、子供たちが架けた「心の架け橋」は、会場全体を温かな笑いと感動で包み込みました。



6年生を送る会

2月26日（木）に6年生を送る会を実施しました。6年生たちの最上級生としてのこれまでの取組は、創立記念式典、運動会・縦割り班活動・日々の清掃や学習態度等、どの場面でも誰もが認める素晴らしいものでした。送る会は、そんな6年生に感謝の気持ちを伝える会です。大きなねらいはここにあるのですが、5年生以下の子どもたちには、感謝の気持ちを伝えつつも「進級への自覚」もめざして各学年取り組みました。特に5年生には「送る会を仕切る」という重要な役割を担わせることで、最上級生となる「自覚と責任への気付き」を大いに期待していました。5年生児童たちにとっては、様々な苦労があったことと思いますが、クラスの仲間や担任の先生と力を合わせ、その期待に十分応えてくれました。さらに、縦割り班での下級生からの素敵な下敷き作りや心のこもった歌のプレゼントなど、それぞれの学年が役割り分担をして、みんなの力によって素晴らしい会となりました。



開会：1年生と入場



お礼の言葉とプレゼント（祝花）贈呈



並べ替えゲーム



つなげ！風船バレー



箱の中身は？



6年生へのインタビュー・・・おもわず笑ってしまう回答もありました。



6年生からのお礼の合奏と歌！ みんな楽しみながらも真剣に、聞き入っていました。



記念撮影



今年度最後の読み聞かせボランティア

2月16日（月）朝の時間に読み聞かせをしていただきました。今年も季節や子どもたちの発達段階に合わせた本のチョイス、抑揚たっぶりのお話、お忙しい中、毎回とても楽しい時間をありがとうございました。来年度もどうぞよろしく願いいたします。

